

# 交通安全おおいた

2026  
No.1



## 新年明けましておめでとうございます

昨年、第十一次大分県交通安全計画の最終年にあたりましたが、歩行者が犠牲になる交通事故が多く発生する等、

組んでまいりました。

昨年、第十一次大分県交通安全計画の最終年にあたりましたが、歩行者が犠牲になる交通事故が多く発生する等、

新年明けましておめでとうございます。

会員をはじめ県民の皆様方には、希望に満ちた輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から皆様には交通安全活動に深いご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、当協会は県知事の認可を得て今年で七一年目を迎えますが、会員の皆様方の多大なるご支援の下、私たちはこれまで県民の皆様が「交通事故の被害者にも加害者にもなりませぬように」と願いながら、「子供や高齢者に対する交通安全教育」や「交通事故防止の広報啓発活動」等に「一丸」となっております。



(公財)大分県交通安全協会  
会長 杉原 正晴

## 新年のご挨拶



残念ながら目標値である「交通事故死者数を三四人以下、重傷者二二〇人以下を達成することができませんでした。

しかしながら、県下各地域において交通安全活動に携わる皆様方が、地域の実情に応じた最大限の安全教育活動や啓発活動を献身的かつ積極的に展開していただきました。

本年から始まる第十二次大分県交通安全計画については、現在、県において策定しているところであると承知しておりますが、大分県交通安全協会としては、県や警察をはじめ、関係機関・団体並びに地域のボランティアの皆様方と緊密な連携を図り、交通事故のない、安全で安心して暮らせる社会の実現を目指してまいり所存であります。

どうか、本年も「交通安全協会の活動」にご理解をいただき、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方にとりまして、幸多い平穏な一年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。



発行

公益財団法人 大分県交通安全協会  
大分県交通安全活動推進センター

編集発行人

筒井 啓祐  
大分市豊町2丁目1番25号 (電話097-532-0815)  
ホームページアドレス <https://www.safety-oita.or.jp>

## 各支部の交通安全活動

～皆様が心から安心して暮らせる安全な街を実現するために～



別府



大分南



大分東



大分中央



宇佐



豊後高田



国東



杵築日出



竹田



日田



玖珠



中津



臼杵



津久見



佐伯



豊後大野

## 自転車に対する青切符の導入

令和8年4月1日から、自転車に対しても交通反則通告制度(いわゆる「青切符」)が適用されます。

対象年齢：16歳以上

対象となる違反及び反則金の例

- 携帯電話使用等(ながら運転) 12,000円
- 信号無視 6,000円
- 車道の右側通行 6,000円
- 一時不停止 5,000円
- その他多数の違反が対象になります。

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側通行  
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

皆様の善意が悲惨な交通事故を防止する活動に役立っています



### 大分県交通安全協会

大分県交通安全協会では、皆様からご協力いただいている入会費2,000円を財源に、悲惨な事故を1件でも減らすため、県下全域で子どもさんや高齢者の方々に対する交通安全教室の開催、街頭での事故防止活動・広報活動等の交通安全活動を行っています。

# 新年明けましておめでとろどぞいます

## 交通安全協会支部長からひとこと

### 別府

来る人も、迎える人も優しい気持ちで安心安全な湯のまち別府を目指します。



別府支部長 山口 努

### 大分南

「地道にコツコツ」と交通安全を呼びかけ、交通死亡事故ゼロを目指します。



大分南支部長 工藤 勢津子

### 大分東

人にやさしく思いやりのある運転を呼びかけ、無事故の街を目指します。



大分東支部長 後藤 芳正

### 大分中央

人も車も優しいマナーと思いやりで笑顔あふれる無事故のまちを目指します。



大分中央支部長 橋本 仁

### 宇佐

新しい年も思いやりとゆずりあいの心でゆつくりと力強く駆け抜けましょう。



宇佐支部長 赤松 健一郎

### 豊後高田

ゆずり合いと思いやりの大切さを呼びかけ、事故のない地域を目指します。



豊後高田支部長 榎本 善仁

### 国東

一丸となって、交通事故抑止に取り組みます。



国東支部長 野田 忠治

### 杵築日出

交通安全の声かけから人も車も思いやりのある安全安心な地域づくりを目指します。



杵築日出支部長 三浦 正臣

### 竹田

運転者の時も歩行者の時も常に感謝と思いやりの気持ちを忘れずお願いします。



竹田支部長 都築 員守

### 日田

交通死亡事故のない安心・安全な日田市を目指して交通安全活動に取り組みます。



日田支部長 渡辺 孝裕

### 玖珠

地域の皆様と安全で人にやさしい交通環境実現のために取り組んでまいります。



玖珠支部長 梅木 建造

### 中津

思いやりのある運転と声掛け活動の推進で、地域の事故ゼロを目指します。



中津支部長 武内 竜一郎

### 臼杵

関係機関、会員の方々と連携を取り、交通事故のない安全で安心な住みよい臼杵市を目指します。



臼杵支部長 牧 宣雄

### 津久見

交通死亡事故ゼロを継続できる町づくりを地域の皆さんと一緒に取り組んでまいります。



津久見支部長 伊東 忠文

### 佐伯

市民の呼び掛け無事故・無違反「安全で笑顔の街佐伯市」を目指します。



佐伯支部長 岩木 悟

### 豊後大野

横断歩道での歩行者優先の徹底を呼びかけ、交通死亡事故ゼロを目指します。



豊後大野支部長 佐藤 英介

# 年頭のご挨拶



大分県警察本部長 幡野 徹

新年明けましておめでとろどぞいます。皆様方には、平素から交通安全活動はもとより、警察業務各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますことに心から御礼申し上げます。さて、昨年の交通情勢につきましては、交通事故発生件数は二一連続で減少したものの、最も抑止すべき交通事故死者数が四一人と令和二年以来五年ぶりに増加に転じました。昨年の特徴として、歩行者が犠牲となる死亡事故が前年比プラス十一件の十六件と大幅に増加し、本来歩



大分県知事 佐藤 樹一郎

新年明けましておめでとろどぞいます。皆様におかれましては、日ごろから地域における街頭活動など、交通事故防止のために多大なご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、昨年は交通事故の発生件数、負傷者数ともに減少したものの、交通事故による死者数及び重傷者数が大きく増加しました。特に、死者数は四一人と一昨年に比べ十三人増加し、十一月二十五日には十二年ぶりに「交通死亡事故多発 全県交通非常事態宣言」を発令するなど、厳しい

一年でありました。一方で、こどもが犠牲となる交通死亡事故は令和二年以降発生しておらず、これも日頃の交通安全指導や、幼稚園、保育所、小学校における交通安全教室など、皆様の真摯な取り組みの賜物であり、そのご尽力に深く敬意を表するところで、今後ともドライバー・歩行者双方に向けた街頭活動や広報の強化に加え、高齢者の事故防止、横断歩道での交通ルールの遵守、自転車等利用時のヘルメット着用などの対策を関係機関や貴協会と連携し、一層推進してまいります。大分県民の交通安全意識がより向上するように引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。結び、皆様方のご多幸と、貴協会の今後ますますのご発展を心より祈念いたします。新年のあいさつとします。

行者が無条件で守られるべき横断歩道上でも多く発生しました。このことから、運転者に対して「横断歩道は歩行者優先」との意識を更に徹底していく必要がある一方、歩行者側にも信号無視などの法令違反が認められることから、本年は運転者・歩行者双方への対策を強力に推進していく必要があります。また、本年四月からは、自転車の交通違反に対する交通反則通告制度が開始されます。これら課題に取り組み、交通事故のない安全な大分を実現するためには、皆様方のご協力が必要不可欠でありますので、引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。結び、貴協会の更なるご発展と、皆様方のご健康・ご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 令和8年使用 交通安全年間スローガン 内閣総理大臣賞 (最優秀作)

- (一財) 全日本交通安全協会と毎日新聞社の共催により募集された交通安全を呼びかける今年の年間スローガンが決定されました。
- 運転者 (同乗者含む) に呼びかけるもの… **急ぐほど 狭まる視野と 増すリスク** (埼玉県 榎田部男様)
- 歩行者等に呼びかけるもの… **親を見て 子供も止まる 赤信号** (大阪府 宮脇 務様)
- こどもたちに交通安全を呼びかけるもの… **車から ぼくたちみえない 手を上げよう** (埼玉県 木村悠人様)

## 日本生命保険相互会社大分支社より「地域振興寄付金」を贈呈いただきました!

令和7年12月3日、日本生命保険相互会社大分支社より「地域振興寄付金」の贈呈を受けました。同社では、交通事故の抑止・減少を目的に、地域の皆様の交通安全意識向上を図るため交通安全アンケートを実施しており、その取り組みの一環として本会にご寄付いただいたものです。贈呈式では、交通安全アンケートの結果報告が行われ、令和6年11月から自転車運転中のスマートフォン等使用による「ながら運転 (いわゆる「ながらスマホ」) の罰則強化や、「自転車の酒気帯び運転」が新たに罰則対象となったことについて、大分県では全国に比べ認知度が低いことが報告されました。本会では、この結果を踏まえ、自転車のルールや安全な乗り方の周知徹底に努め、交通事故防止に向けた啓発活動をさらに推進してまいります。

